

春が来た ～自立動作支援ロボットを体験して～

○^{サクライイクオ}櫻井幾夫¹⁾ 桑原功夫²⁾ 元井康弘^{3a)} 吉井孝樹^{3b)} 安藤達也⁴⁾ 五十嵐有紀子⁵⁾

1) 永生クリニック利用者 2) 永生病院リハビリテーション部 PT
3a) 永生クリニックリハビリテーション科 PT 3b) 永生クリニックリハビリテーション科 OT
4) 訪問看護ステーションめだか PT 5) 永生病院診療部 Dr

【現病歴】

平成 22 年 12 月トラック乗車中に交通事故にあい、頸髄損傷受傷し大学病院に緊急入院。その後、他院でのリハビリを経て、平成 23 年 6 月永生病院にリハビリ目的で転院。平成 24 年 2 月退院後、永生クリニックにてリハビリを開始する。同年 10 月より平成 25 年 1 月まで、自立動作支援ロボットによる基本動作訓練を体験する。

【経過】

訓練開始時は、立ち上がり・立位保持が全介助で、上・下肢活動時は屈筋・伸筋群の同時収縮が強くみられたが、自立動作支援ロボットによる立ち上がり訓練・歩行訓練により、立位バランス・歩行パターンのイメージが明確になり、訓練終了時には、立ち上がり・立位保持が軽介助、サークル歩行が中等度介助まで改善した。上肢に関しては、立位での分離運動がみられるようになった。

【自立動作支援ロボットを体験して】

それまでは、使うところの筋肉だけを使えばいいのに、力の抜き方が分からなかったですね。余計な汗をかいてるんですよ。いつも。

ロボットをはじめて見た時は「これで大丈夫かな？」と思ったり、やっぱり疑うじゃないですか。でも、実際に使ってみて、びっくりしたというか。やっていくにつれて、相棒になってくるんですよ。「今日も頼むぞ」みたいな感じで、「お前も頑張れよ」みたいな、言い合っているというか。今日もお前に助けてもらって、立って手が離せる、下半身から下が自然とスポッとハマっているっていう感じで。それがやっぱりプラスっていうか。

お前のおかげでここまでこれたよっていう、そういう気持ちはありますね。機械だけど、僕には機械じゃないんですよ。相棒だから。「一緒に歩こう」「一緒に立ち座りやろう」じゃないですけど。やっていくにつれて、話ができるじゃないけど。「これしかできない」「もうちょっと頑張ってくれ」とか、そういうやり取り。ロボットを着けて行動するんじゃなくて、もうロボットと見ていなかったですね。あいつは、後ろから支えてくれる。使った人にしか分からないですよ、この気持ちは。徐々にやっていくうちに、ロボットじゃなくなると。同じ人間が助け合っている感じと。

【体験を終えて】

これからは、自力で歩いてクリアーしてやるぞって。お前も自力で頑張れよってみたいな感じですかね。最後にバイバイする時は、正直寂しかったですよ。ここまでしてくれてありがとうっていう。感謝しかないですよ。自分の力でもあると思うんですけど、あいつの力でもあるんで。お互い、ホント拍手じゃないけど、よくやったなっていうか。ロボットなんだけど、ロボットにきよならって。あいつも俺に頑張れって。そんな感じですよ。